

月命日 鎮魂の踊りと祈り

「三陸海の盆」沿岸の郷土芸能 勢ぞろい



東日本大震災で犠牲となった人に慰霊の歌と踊りを届ける「三陸海の盆in石巻」(三陸海の盆石巻実行委員会主催)が8月11日に中瀬公園で開かれました。今回で8回目、石巻での開催は初めてです。震災から7年5カ月の月命日に、力強く復興へと歩む姿も同時に披露しました。参加したのは岩手、宮城両県の三陸沿岸の郷土芸能など13団体。石巻市から渡波獅子風流塾、神取・給人町法印神楽保存会、北上町女川法印神楽保存会、牡鹿神楽古実会、民謡の会、よさこいチーム舞綺瓔の6団体が、それぞれ特徴ある演技を見せました。会場を訪れた人は各港町が育んできた芸能を興味深げに鑑賞していました。地震が発生した午後2時46分前後には追悼の時間を設け、出演者や来場者は太平洋へと注ぐ北上川に向かい献花しました。三陸海の盆は2011年に岩手県大槌町で始まり、その後は年に1回、被災地を巡りながら回を重ねてきています。



ヤマトタケルの鬼退治を題材にした神取・給人町法印神楽



躍動感あふれる演技を見せた渡波獅子風流



静と動を織り交ぜた演技で魅了した牡鹿神楽古実会



華麗な衣装で舞う南三陸町の水戸辺鹿子躍



気仙沼市の崎浜大漁唄込は勇壮な海の男の姿を披露



それぞれ特色のある郷土芸能を満喫し、拍手



震災月命日に合わせて献花